

定例会レポート

5月～10月

5月 例会

愛媛県における日本酒事情

担当 当/LTA委員会
参加人数/42名

中小企業と研究機関の連携が活発に行われており、その事例を知ることを目的として愛媛県工業技術センター発酵食品研究室 宮岡俊輔氏を迎えて、「愛媛県における日本酒事業」という演題にて講演会を行いました。

県酒造組合が日本酒ばかりに危機感を感じ、センターに協力を依頼、センターが日本酒酵母EK-1を開発。その後業界の取り組みについて、実例から詳しくわかり易くお話し頂きました。

講演会終了後、懇親会を行い宮岡俊輔先生もご参加いただきました。先生は懇親会参加者からの質問等にも丁寧にお答え頂き、会員と先生との交流を深めることができ、無事終了しました。

LTA委員会 委員長 伊藤宏



8月 例会

売れる商品開発について

担当 当/LTA委員会・しふくる委員会
参加人数/47名

中小企業を研究機関の連携が活発に行われているその事例を知ることを目的として、愛媛大学地域共同研究センターリエゾンオフィス 産学官連携コーディネーター 秋田浩二氏を迎え、「売れる商品開発について」という演題にて講演会を行いました。井関農機株式会社にて農業機器で数々の特許を取得し商品化した実例を踏まえ、新商品開発のターゲット決定から技術の確立、商品の開発、目標実現までの各プロセスでの考え方の説明を受けました。どんな商品が売れるか、売れる為にどんな作戦を行ったか、売ることができる人材とはどんな人材か等、熱く語って頂き、大変参考になりました。

後援会終了後、懇親会を行い、秋田浩二先生も参加頂きました。会員と先生との交流を深めることができ無事終了しました。

LTA委員会 委員長 伊藤宏



6月 例会

県大会への挑戦

担当 当/大会準備室
参加人数/47名

「県大会への挑戦」と題して大会準備室の担当で行いました。来年度、西条YEG主管で行われる第25回商工会議所青年部愛媛県地区会員大会について、メンバーみんなの意思統一と更なる意識向上のための例会アワーとなり、メンバーの参加意欲も高まり、締めくくりでは、日野・玉井両副会長の号令の下すばらしい盛り上がりが見られました。今後もメンバー皆さんのご協力をお願い申し上げます。

大会準備室 室長 塩出景輔



9月 例会

西条の水防事情

担当 当/総務・広報委員会
参加人数/42名

9月1日は「防災の日」。西条市でも大規模な防災訓練が行われました。昨年の台風は西条市に多大な被害をもたらしました。また例会前日には台風が九州に上陸しました。

台風銀座・地震列島の日本、もしもの時に備えて、個人・家庭・地域・職場で「安心」を考えてみるため、西条市東消防署消防指令、宮武高志氏に講演していただきました。

昨年の被災直後の西条市、あるいは土砂崩れ・土石流等の貴重な映像も、見せていただきました。また天気予報は、重要な情報源であること、そして避難時の注意事項等について、明確に説明していただきました。

南海地震も、近い将来起こるかもしれません。避難場所の確認、緊急連絡先の確認、非常持ち出し品の準備等、日頃からの心構えが重要であることを再認識させられました。

総務・広報委員会 副委員長 風本尚彦



7月 例会

新・西条市の新発見

担当 当/総務・広報委員会
参加人数/38名

2004年11月1日に、(旧)西条市・東予市・小松町・丹原町の2市2町が合併し、新しい西条市が誕生いたしました。しかし新たに加わりました3地域については、同じ市内とはいえ知らないことが多いので、これを機に探訪・取材し、その結果を発表いたしました。

法安寺・石鎚ハイウェイオアシスなど観光マップに掲載されているところはもちろん、酒造会社の方と、取材を通じて新市に対する希望などの話を聞け、充実した取材活動を行うことが出来ました。時間の都合上導入的なことしか発表できませんでしたが、今後の快適な生活・地域交流・ビジネスに役立つ情報を提供できたのではないかと思います。

総務・広報委員会 委員長 安藤忍



10月 例会

OB連絡協議会大交流会

担当 当/StEP委員会
参加人数/60名

例会アワーとしてOB連絡協議会大交流会を行いました。今回はアサヒビール四国工場の立派なホールをお借りして、今治造船㈱常務取締役西条工場長の岡田正人様の講演を拝聴し、その後ビール園に場所を移して大交流会を行うという二本立てで、多少欲張った構成で充実した時間を過ごしました。

岡田工場長様には「地域と共にある今治造船㈱」と題しまして、限られた時間の中、パワーポイントを駆使してわかり易く会社の歴史やビジョン、また岡田工場長ご自身の哲学などお話頂き、大変勉強になりました。ビール園での大交流会は、熱気あふれる盛り上がりで、非常に楽しい時間を過ごす事が出来ました。

StEP委員会 山口 浩治

